

SPRING 2019

## ものづくり大学通信 No.21

- 01 梅原名誉総長追悼-1
- 02 梅原名誉総長追悼-2
- 03 会長交代
- 04 教員挨拶
- 05 学生の活躍1
- 06 学生の活躍2
- 07 高大連携
- 08 教育
- 09 研究
- 10 トピック
- 11 インフォメーション

## 梅原猛名誉総長を悼む

2019年1月12日、梅原猛名誉総長が永眠されました。  
日本を代表する哲学者のひとりであり、本学の名付け親でもある梅原先生は、知と身体が離れがちな現代社会を憂い「知行合一」を目指した教育に情熱を注がれました。  
謹んで哀悼の意を捧げます。

学長 赤松 明  
(編集者 名誉教授 藤原 成暁)



うめはら たけし  
梅原 猛

1925年	3月20日	仙台市にて誕生、父は梅原半二
1945年		京都大学哲学科に入学、直後に軍に召集 梅原半二がトヨタ自動車に勤める
1987年		国際日本文化研究センター初代所長に就任
1998年	1～4月	仮称国際技能工学大学基本計画委員会設置、座長に就任
1999年	9月	ものづくり大学認可申請、初代総長予定者
	11月	文化勲章受章
2000年	12月	学校法人許可、ものづくり大学認可、1月に学校法人第1回理事会開催
2001年	4月	ものづくり大学開学、初代総長に就任、4月6日第1回入学式
	5月、7月	公開講座を行田市で開催。第1回は永六輔氏、第2回は瀬戸内寂聴氏 ものづくり大学校歌を作詞、作曲者の 廣瀬量平氏は梅原総長の紹介 公開講座をまとめた「未来を創る力「ものづくり」のすすめ」出版
2002年	12月	第1回卒業式
2005年	3月	キャンパス内庭園に『たくみの心』石碑揮毫
2012年	3月	総長を退任、名誉総長に就任
2015年	3月	
2019年	1月12日	京都市にて永眠

## 梅原先生の校歌に籠めた思い

## ものづくり大学校歌

作詩 梅原 猛 作曲 廣瀬量平

- 1 縄文の 昔より  
国の誇りは ものづくり  
遠き世ゆ 伝えて  
みがきみがきし 美しき  
たくみのわざを われら学ばん
- 2 日の本の 近き世の  
国の栄えは ものづくり  
豊かなる 世をまねく  
きたえきたえし まことなる  
たくみのわざに われら励まん
- 3 この道の すたれなば  
国の滅びは きたららん  
身と心 一つなる  
にゅうものづくり 世直しの  
たくみのわざを われらつくらん

## 歌詞に籠められたものづくりの精神

梅原先生は、「ものづくり」は「ひとづくり」、ものとひと両方が大切であり、精神と肉体、知ることと行うこと、両者が一体となった「知行合一」の教育を目指すための大学づくりを一貫して主張されました。

日本文化の基層は縄文文化にあると考えられ、その中にある日本の伝統のものづくりの精神と技を学ぶことの大切さと思いは歌詞に籠められています。



## 梅原先生からのメッセージ

## ものづくりの精神を学び実践する大学

「時代が必要とするものはどんな困難があっても生まれてくる」、梅原先生はそのように考えられました。ものづくりの精神が危うい時代に日本の進むべき道を官民一体となって模索した結果、その精神をもう一度日本に根付かせようと大いなる危機意識を持って、2001年ものづくり大学は開学しました。大学名は当初「国際技能工学大学」でしたが難解な用語ではなく、日常の言葉で平明で分かり易いひらがな名が好いという信念から、「ものづくり」を推奨され、現在の「ものづくり大学」となりました。「ひとづくり」をも合わせ持つ「ものづくり」という、やまと言葉に本学の未来を託したのです。

本学は、従来の大学の工学部とは一味違う体験型の実学教育をモットーとします。ものづくりの科学と技術を学びながら一方で、ものづくりの苦勞と喜びを体験する、これは同時に創造性と人間性を高めるという目的もあります。ものとひと、両方が大切であり、精神と肉体、知ることと行うこと、両者が一体となった「知行合一」の教育を目指すための大学づくりに邁進して来られました。

## 人として成長してこそ「ものづくり」はある

ものづくりを通して、これからの日本の未来、役割を考えること、そして、先ず自らが汗を流すことを厭わない人間を目指すこと。学生時代は、やがて社会に出てしっかり実を結ぶための重要な人間教育の場でもあります。

学生生活の4年間をどのように過ごすか、如何に過ごしたかがその後を決定づける大きな鍵となります。自ら自立して学ぶ意識と学べることに対する感謝を忘れないで、平成から令和へと時代は変化しても変わることはない、梅原先生の示された道、日本のものづくりの精神の大切さを私たちは後世に伝えていく使命があると思います。

出典、参考文献  
・未来を創る力「ものづくり」のすすめ/講談社2002.12  
・本学の1年生を対象に行われた講義 2012.5.19  
・「梅原猛の授業 仏教」朝日新聞社、朝日文庫2006.10

## 梅原先生の遺された言葉

(2012年5月19日、本学の1年生を対象に行われた講義より一部編集)

## 「日本文化とものづくり」

1. 私とものづくり 私の父、梅原半二はトヨタ自動車の技術の基礎を作った技術者で、コロナは父の設計によるといわれる。東北大学の講師をしていた父のトヨタで最初の職は技能者養成学校の校長であった。私は縁あってものづくり大学の総長になったが、それは父が私に命じた職であるような気がする。それで、父と親しかったトヨタ自動車の豊田章一郎名誉会長に学校法人の会長就任をお願いしたのである。そして豊田氏の後任の会長には、日立製作所相談役の庄山悦彦氏を推薦していただいた。ものづくり大学とは私の命名によるが、ものづくり大学の卒業生がトヨタ自動車及び日立製作所に数多く採用していただいているのは、そのような人間関係が影響しているのかもしれない。

2. 哲学ということ 私は父の意に反して哲学を一生の仕事とした。哲学は、人間がどう生きるべきかを自分の頭で考える学問である。私は西田幾多郎に憧れて、哲学を一生の仕事と考えた。西田はまさに思索に憑かれた人であった。私は哲学者の姿勢としては西田を手本としているが、哲学はもっと易しく語るべきであるという気持ちを学生時代から抱いていた。西田は仏教、特に禅の立場で西洋哲学を批判したが、私も前々から西洋哲学では今後の人類は生きていけないと感じていた。

地球環境問題が深刻化するや、私の批判は正しいと思わざるを得なかった。そして人類を救う思想が日本の思想のなかに潜在するのではないかと考えて、50年間、日本思想研究に専念した。

3. 「草木国土悉皆成仏」 その結果、私は、「草木国土悉皆成仏」という言葉によって日本文化は説明されるのではないかと確信するようになった。それは、いってみれば植物中心の世界観であり、西洋哲学のような人間中心の世界観ではない。その思想の起源は古く縄文時代にさかのぼる。ヒスイの勾玉、「君が代」、皇居外苑の松など、その思想を示す。

## 4. 日本の芸術

日本の芸術はまさにこの思想のもとに表現される。文学にしても、和歌は中国の詩と違って自然を詠んだ歌が中心であるといえる。『古今和歌集』は巻1から巻6までが四季の歌であり、



巻11から巻15までは恋の歌であるが、それは主に女性が花に比せられているのである。俳句もまた自然を詠んだものである。『源氏物語』の登場人物も藤壺、桐壺、葵、紫など、多くが植物の名である。

また日本の美術としてもっともすぐれているのは雪舟に代表される山水画であり、円山応挙や伊藤若冲によって代表される花鳥画である。明治以後の芸術においてもそれは変わらない。

5. 西洋の人間中心主義 西洋の哲学は人間が中心である。理性をもった人間は世界を支配する。それがもっともよいことである。そのような哲学はルネ・デカルトによって確認され、それが科学技術文明を進める哲学となっている。

しかしそのような哲学に導かれている文明はまさに行き詰まっているといわねばならない。自然破壊のすさまじさ、そして原発の恐ろしさ。それは西洋が生み出した近代文明の行き詰まりであると考えてよい。もう一度、人類は「草木国土悉皆成仏」という思想を取り戻さねばならない。科学技術は自然征服のための技術ではなく、人類が自然と共存するための技術にならなければならない。

たとえば、日本の建築と西洋の建築の理念は違っている。日本の建築の根本には木の建築がある。木の建造物は必ず新しく建て替えられる。ウッドサークル、諏訪の御柱、伊勢神宮の例など。しかし石の建築は永久性を原理とする。西洋は、木を切り尽くしてから石の建築を用いたのである。法隆寺の柱、エンタシスの例。

また機械に対する考え方も日本と西洋は違う。手塚治虫の「鉄腕アトム」では、ロボットは生きている人間と同じような魂をもつ。縄文以来、日本人は器物もまた植物や動物と同じように生きていて、魂をもつものであると考えてきた。そのような思想の伝統のもとに「鉄腕アトム」が創られている。

このような伝統が今後の日本のものづくりにも生かされなければならないであろう。



## 追悼の言葉

## 大学の名付け親としての梅原先生

名誉教授  
おおた くにお  
太田 邦夫



学内記念植樹(2001年) 左:筆者

梅原猛先生が本学の名を「ものづくり大学」とされたのには深い訳があります。当時の産業界が目指した「ものづくり」とは違い、古語「ものづくり」には田や畑からものを得る、農耕といった意味もありました。この言葉には製造業や建設業だけでなく、農業のように自然の素材を扱う幾多の生業にも通じる澄んだ広がりがあり、未来を拓く技のみならず、伝統的な技も共に敬う姿勢を示すのにも最適と思われました。

そこで、開学後先生が最初に招かれた講演者も、旧知の作家で尺貫法禁止に強く反対する永六輔氏でした。新入生が使う寸目盛の差し金を見て喜ぶ永さんとそれに頷く梅原先生。いまは亡きお二人の笑顔には、大地から濁らずに湧き出る水のような「ものづくり」への想いが溢れていました。開学時の初心を忘れないことこそが、先生への追悼として最もふさわしいのではないのでしょうか。

## 梅原先生と日本ものづくり学会の設立

名誉教授  
(一社)日本ものづくり学会理事長  
なかもら たかお  
中村 隆夫



埼玉県立進修館高校にて(2007年) 右:筆者

ものづくり大学の入学式や卒業式で先生の訓話をお聞かせいただくだけの私が、長時間ご一緒できたのは、2007年、学生募集の先頭に立ちたいと、高校訪問される先生に同行させていただいたからです。

写真は、埼玉県立進修館高校で撮影した一枚ですが、その行き帰りの中で伺ったものづくりにたいする熱情溢れるお話が、(一社)日本ものづくり学会の設立につながっているのを思うと感無量です。

また、その時のご説明にあった「縄文のものづくりが弥生の米づくりのもとになっている」とのお言葉が、本学会案内の表紙を飾る写真の稲穂となり、先生を偲ぶ縁(よすが)になっています。

梅原猛先生ありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 幾多のご指導・助言に感謝

名誉教授  
かみや まさし  
神谷 聖志



4期生謝恩会(2008年) 右:筆者

先生のご逝去の報に当たり、心より哀悼の意を表わします。先生には、ものづくり大学に関する創立理念に始まり、昨今の大学運営に関わる幾多のご指導と助言を賜りました。特に、開学時には、創立を左右する問題や大学の理念とその運営法における生々しい問題などについて、京都から度々上京され、深いご洞察力によって解決への道付けを示して頂きました。故野村学長と共に深謝しておりました。

また、私的な交流では、先生からご招待いただいた「スーパー歌舞伎」では神話伝説の奥深さ、壮大さを、「梅原猛書展」では毛筆の力強さ、慈愛に満ちた母心仏心に通じる芸術性を学ぶことができました。これら数々のご指導に深謝するとともに、先生のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

## 機械実習場での梅原総長との思い出

名誉教授  
ほそだ やすひろ  
細田 保弘



理事会での梅原先生(2015年)

開学してすぐに総長を機械実習場に案内した時、「実は私の父はエンジニアで、私も昔旋盤を使ったことがあるけど上手くできなかった。」「この大学には、モノづくりが好きな学生がたくさん集まるので、是非、貴方の金メダルの技能を学生に伝授して欲しい。」と激励され、学生と一緒に実習が楽しく、達成感のある内容になるよう心掛けました。

また、総長は古典芸能を「スーパー歌舞伎・能」として現代風に改革しています。機械加工も自動化や海外への生産現場の移行、そして若者のモノづくり離れなどから汎用旋盤実習は古いと言われますが、「温故知新」基本技能を理解し身に付け、その体験から新しいものに改革できるチャレンジ精神旺盛な技能・技術者を数多く育てられたらと思っています。総長のご冥福を心からお祈り致します。

## 巨星隕つ

学校法人元専務理事  
きたお よしなり  
北尾 美成



卒業式での梅原先生(2005年)

梅原先生が亡くなりました。かねてから療養されているとは聞いていましたが、これまでも何度も病気を克服されてこられたので、今度も元気になると思っていました。誠に残念です。そのスケールの大きさからは正に「巨星隕つ。」としか言いようがありません。哲学者であり、歴史家であり、文学者であり、また、劇作家であり、小説家でもありました。実社会では、学長や所長の職を長く勤められ、一方、政治家ともお互いに敬意を持ちながら中身のある話ができた人でした。

ものづくり大学の総長として、お元気な頃は、毎回入学式、卒業式に出席され祝辞を述べて戴きました。中でも印象に残っていることは、或る年の卒業式の後の謝恩会で、総長をいつまでも続けると宣言されたことです。これも今は叶わぬ夢となりました。

## 梅原先生の想いに応えたい

建設技能工芸学科  
第1期卒業生(2004年度卒業)  
建設学科教授  
おおつか しゅうぞう  
大塚 秀三



第1回碧蓮祭(2001年) 中央:筆者

「来てくれてありがとう」。この一言で救われました。これは、我が大学の初めての入学式での梅原先生のお言葉です。色々とかみ砕いてお話しされていましたが、これしか憶えていないのが正直なところ。開学直前から続いたごたごたの中で不安以外になかった我々1期生にはこれ以上の言葉はなく、大きな勇気と希望を貰えました。年齢30を過ぎた身で、既存の工学教育の中で「知行合一」に大真面目に向き合おうとした壮大な実験(ものづくり大学)に加わりたかったひとつに、梅原先生の存在があったことは間違いありません。

それから18年、我々は果たして梅原先生の想いに応えられたのでしょうか。本当の正念場はこれからです。ご冥福をお祈りいたします。

## 太陽のような存在

製造技能工芸学科  
第1期卒業生(2004年度卒業)  
(株)倉川製作所 代表取締役  
くらかわ なおし  
倉川 尚志



第1回碧蓮祭(2001年) 右:筆者

梅原総長 突然の訃報、心よりお慰み申し上げます。

2001年春 社会を騒がせ、砂埃舞う未完のキャンパスのものづくり大学入学式で初めてお会いしましたね。

小さな体で、決して力強いわけでない口調、足取りだってゆっくり弱々しい、だけど、逆境の中で集まった我々を迎え入れるその姿に、深く感銘を受けました。

野村東太学長が父としての存在であるならば、梅原総長はさながら太陽のような存在でした。

安らかに眠ってくださいとは言いません。

いつまでも、貴方の薫陶を受けた全ての人々が貴方のように、最後まで強く生きて行けるように皆の人生を照らし続け、背中を押して欲しいのです。

私も、貴方のように最後まで精一杯一生懸命生きます。ありがとうございました。

## 梅原先生のパワーに圧倒されて

教務課長  
みやもと のぶこ  
宮本 伸子



第1回入学式後(2001年) 右:筆者

梅原猛先生と言えば、「隠された十字架」だと思っていた私は、本学の総長候補者に梅原先生のお名前が挙がった時に聖徳太子が結び付けて下さったのではないかと感じたほどでした。初めてお会いしたのは、基本計画の委員会を始めた頃、お父様がトヨタ自動車の技術者だったと聞いて、先生に引き受けていただけのお気持ちに納得しました。

開学前にキャンペーンビデオの撮影に立ち会って、全身から言葉が出てくるパワーに圧倒されたのを覚えています。その力が、本学の開学に結び付いたのだと感謝しています。

そして初めての入学式の日、総長とのこの記念撮影は、忘れられないワンショットです。いつまでもこの笑顔で、ものづくり大学を空から見守っててください。

## 就任のご挨拶

日野自動車株式会社  
代表取締役会長いちしし やすひこ  
市橋 保彦

この度、宮本洋一前会長の後を引き継ぎ、ものづくり大学の会長を拝命いたしました市橋保彦です。

私は長年に渡り、自動車の設計の仕事に携わってまいりました。まだ若かりし頃は、職場の上司や先輩から「設計者は常に自身が設計するものの造り方を知り、ものに触れ、現地現物で学べ」と教えられ、実践を心掛けておりました。自分自身で設計した部

品を手にとりながら、ひたすらその改良に思い悩む、という当時の経験から、私は「ものづくり」の基本的な考え方を学んだように思います。

現在、世界はICT、IoT、AIなどのデジタル革新が「社会のありよう」を変えるという、大変革の時代にあります。この大きな変化の中、産業界が求めているのは高度で多様な人材です。

私はこのような人材を育てるため

にこそ、ものづくりの基本的な考え方である「現実にもものに接し、ものの命を体感、体得することから問題を発見し、自ら解決方法を見いだす」というプロセスを学ぶことがとても大切であると感じています。

ものづくり大学では、基本的技能と「ものづくり魂」を基盤に据え、そこに科学・技術の知識とマネジメント能力を加えることで、このような時代の変

化にも柔軟に対応できる、産業界が求める人材を育成することを目指しています。単に理論がわかるだけではなく、高度な技能の腕を併せ持つ「テクノロジスト」を育成することで、長年にわたり培ってきた、伝統ある日本のものづくりを守るとともに、グローバルに活躍できる人材が本学から巣立ってくれることを、私は期待しております。

1974年 トヨタ自動車工業株式会社(現トヨタ自動車株式会社) 入社  
2010年 関東自動車工業株式会社(現トヨタ自動車東日本株式会社) 取締役副社長  
2012年 日野自動車株式会社 取締役副社長  
2013年 同 代表取締役社長  
2017年 同 代表取締役会長

## 退任のご挨拶

清水建設株式会社  
代表取締役会長みやもと よういち  
宮本 洋一

日立製作所の庄山悦彦会長(当時)からバトンを受け、ものづくり大学会長に就任して、はや6年が過ぎました。この間、私たちを取り巻く社会は、「第4次産業革命」ともいわれる大きな変革を遂げようとしており、IoTやビッグデータ、AIなどの新たな技術を活用したイノベーションによって、社会生活や企業活動の在り方が大幅に変わっています。

そうした環境にあって、本学では全国でもトップクラスの少人数教育を行うとともに、他の大学では見られない実学重視のカリキュラムにより、日本を代表する企業で活躍する卒業生を輩出し続けています。その活躍の基礎には、「ものづくり」に携わる人材に求められる、実践を見据えた技能と技術を本学で習得したことが、大きな役割を果たしているものと思います。

今後、少子化が進むなか、大学が提供する教育の質がこれまで以上に問われることとなりますが、本学においては、「ものづくりはひとづくりである」という建学の精神を堅持しつつ、教育内容を更に充実させ、グローバルに活躍できる人材を数多く輩出することを期待しています。本学の更なる発展を祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。



2018年度卒業式

## 【新任教員挨拶】

## スキル獲得のプロセスを追うこと

総合機械学科准教授  
ながい たかし  
永井 孝

1974年 静岡県御崎市生まれ  
1997年 職業能力開発総合大学校造形工学科卒業  
オーセブン株式会社  
2001年 文際アートカレッジ/日本外国語専門学校  
2008年 株式会社CMSコミュニケーションズ  
2011年 信州大学大学院工学系研究科情報工学専攻修了  
2017年 信州大学大学院総合工学系研究科システム開発工学専攻単位修得後退学  
2018年 博士(工学)  
ものづくり大学 技能工芸学部 総合機械学科 准教授  
[趣味] 囲碁、スノーボード

2018年9月より総合機械学科の准教授として着任しました。これまで、CADシステム、コンテンツマネージメントシステム(CMS)といった、ものづくりをしている専門家のサポートツールの開発をしていました。そして、CMSの開発を通し、オープンな学習の場を提供するオープン学習プラットフォームを知り、オンライン学習支援システムの研究・開発に携わることになりました。私の専門は教育工学となります。特

に、芸術やスポーツといった身体動作を伴うスキルを効率よく身につけるための支援技術の研究をしています。熟練者や学習者の動作データを保存・解析・モデル化するためのプラットフォーム、学習者のスキル獲得の為に学習支援プラットフォームの開発です。例えば、ドローイングスキル獲得を対象とした学習支援システムでは、熟練者の描画プロセスに着目し、プロセスデータを保存、解析してモデル化しました。

このモデルを利用し、学習者への学習支援を行っています。

本学では、学生と共に新しい技能伝承の仕組みの研究を行い、技能と技術のバランスが取れたクリエイティブ・テクノロジストの輩出をしていきたいと思えます。



ドローイング学習支援の様子

## 【退任教員挨拶】

## これまでを省みる

名誉教授  
いちかわ しげのり  
市川 茂樹

1953年 東京都江戸川区生まれ  
1976年 日本大学生産工学部土木工学科卒業  
1978年 日本大学大学院生産工学研究科博士前期課程土木工学専攻修了  
1985年 日本大学大学院生産工学研究科博士後期課程土木工学専攻単位取得満期退学  
1987年 拓殖大学工学部機械システム工学科助手  
1998年 博士(工学)(東京工業大学)  
2000年 拓殖大学工学部機械システム工学科専任講師  
2002年 ものづくり大学 技能工芸学部 製造技能工芸学科 助教授  
2006年 同 教授  
2011~2013年 同 ものづくり研究情報センター長  
2019年 同 退職  
[趣味] 絵画鑑賞(特に日本画)、歌舞伎、スキー

皆様の長い間のご厚情、衷心より御礼申し上げます。これまで教員として、また研究者としての通常の責任から解放されて鑑みますと、果たして期待に応えることができたかどうか忸怩たる思いです。ものづくり大学在職中の私にまつわる出来事の一つ回顧しつつ本誌の一隅を埋めることとします。

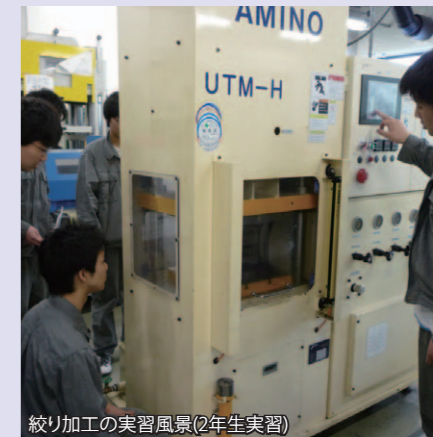
2004年に受託研究で自動車生産現場との研究開発のプロジェクトが立ち上がり、ものづくり大学から加工系の教員数名が動員されました。その中で

私はボデー外板の金型設計を担当しました。大学で実験、現場で打ち合わせを繰り返し、この状況は3年ほど続き、最終的には、不良率の軽減、金型交換時期等改善できました。この間、やり取りの中で企業の開発手法、もの作りの考え方を数多く学ばせて頂いたことは感謝の念に堪えません。この経験を大学に持ち帰り、担当する実習を現場で対応できる内容に変更していき、今日に至りました。しかし、工学系の教員の定めとして、時代の変化に敏感であ

ることが求められる、IoTしかり、AIしかり、老兵は退き際が肝腎です。ものづくり大学の教職員の皆様のご活躍、ニューものづくりに期待します。



せん断加工の実習風景(2年生実習)



絞り加工の実習風景(2年生実習)

## 【退任教員挨拶】

## ものづくり大学での13年間

名誉教授  
ふじわら なりあき  
藤原 成暁

1953年 東京都世田谷生まれ  
1978年 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業  
奥野建築設計事務所  
1981年 鬼頭梓建築設計事務所  
1990年~ (株)一級建築士事務所 藤原成暁設計室  
2006年 ものづくり大学 技能工芸学部 建設技能工芸学科 助教授  
2009年 同 教授  
2015~2017年 同 建設学科長  
2017~2019年 同 図書情報センター長  
2019年 同 退職  
[趣味] 絵画・書・テニス・将棋

一年また一年と過ぎて、瞬間に定年を迎えることになりました。大難なく大病もせず充実した時を過ごすことができましたのも、教職員の皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

退任に際し、2018年12月18日から24日まで旧古河庭園内大谷美術館(旧古河邸:J.コンドル設計)にて「過去から未来へ」と題した個展を開催し、36作品の展示・構成を行いました。過去を振り返り、これからの考える良い機会になりました。

着任当時、中央広場の外構植栽整備を行うため設計コンペから完成まで参画しました。今は亡き宮島秀夫先生ご指導のもと学生諸君の手により、時を経て緑も育っています。

また、故神本武征元学長の発意で始まった「ものづくり大学通信」創刊に際しては、トータルデザインを担当させて頂きました。更に「カップ・マルタンの休暇小屋のレ

プリカ制作」に関われたことは、とても思い出深い仕事として心に刻まれています。

多くの気づきと学びの場を与えてく

ださった教職員の皆様や学生諸君と共に過ごした13年間は私にとって貴重な財産です。今後に生かして精進して参ります。有難うございました。



旧古河庭園での個展



**第56回技能五輪全国大会**  
**2年連続金賞受賞！3職種5名が入賞！！**



技能五輪全国大会は、各都道府県の予選を勝ち抜いた次代を担う23歳以下の青年技能者が42職種で技能レベルの日本一を競う大会です。第56回技能五輪全国大会(2018/11/2~11/5)が沖縄県で開催され、建設学科から4職種11名の学生が出場しました。

出場学生のうち5名が入賞し、4年生の山口智大さん(家具職種)は、2年連続の金賞となりました。2018年度も沢山の皆さまにあたたかいご声援をいただき、誠にありがとうございました。

**出場者・入賞者**

職種	学年・氏名・出身校	賞
建築大工	2年 柏原 一輝 (兵庫 龍野北高校 出身)	敢闘賞 銅賞
	3年 兵頭 冬尉 (愛媛 吉田高校 出身)	
	4年 手島 脩兵 (群馬 前橋工業高校 出身)	
家具	2年 高橋 就宗 (群馬 高崎工業高校 出身)	金賞 敢闘賞
	4年 山口 智大 (埼玉 進修館高校 出身)	
	4年 宇野 元子 (東京 宝仙学園高校 出身)	
左官	3年 石川 真由 (埼玉 浦和学院高校 出身)	銅賞
	3年 及川 千尋 (埼玉 埼玉栄高校 出身)	
	4年 加藤 幹也 (千葉 京葉工業高校 出身)	
造園	1年 石原 颯大 (埼玉 いずみ高校 出身)	
	1年 江口 裕太 (東京 佼成学園高校 出身)	

**2018年度同窓会表彰紹介**

同窓会表彰とは、学内の卒業研究・制作や修士論文の発表会で優れていると認められた学生や、社会的に学術研究等の成果が優れていると認められた学生等に対し表彰するものです。本学で培った「知識」や「知恵」「技能」「技術」を駆使して卒業研究・制作や修士論文に取り組む学生の成果を同窓会表彰として評価することで、研究に取り組む意欲を高めることを目的としています。

氏名	学科	修士論文、卒業研究・制作タイトル
加藤 祐樹	大学院	アルミニウム合金の流動性に関する研究 AC4C合金の流動長に及ぼす金型表面溝の影響
市川友貴人	製造	エクストリームポップコーンワゴンの製作
岩本 将尚	製造	衛星追尾アンテナシステムの構築
中島 碧海	製造	付加製造技術を用いたフィジケットの製作 およびデータ公開の検討
成田 壮一	製造	AC4CHアルミニウム合金鋳物のマイクロポロシティ に及ぼす圧力の影響に関する研究
五十嵐海南	建設	コンクリートポンプ工法に用いる輸送管の摩擦に 関する実態調査
金子 友昭	建設	木造戸建住宅の精密性能に関する研究 その2 各部の通気率・隙間特性論
小林 弘道	建設	小さな居場所 吹上富士見団地改修計画の提案
渡邊 恵子	建設	古代エジプト祠堂型木製家具の復元制作

**第56回技能五輪全国大会**  
**家具職種金賞、国際大会へ**

建設学科准教授 **佐々木 昌孝**

この夏開催(2019年8月22日~27日)される2019技能五輪国際大会(ロシア連邦・カザン)の家具職種に、建設学科卒業生・山口智大さん(2018年度卒業・埼玉県立進修館高校出身)が出場します。2年に1度開催される技能五輪国際大会は、世界の若手技能者の祭典です。山口さんは、1年次に若年者ものづくり競技大会(木材加工職種)に出場して銀賞を獲得、2年次には技能五輪全国大会(家具職種)に出場し銀賞を獲得しました。この頃から国際大会への出場を意識するようになり、3年次と4年次に全国大会二連覇を達成しました。

山口さんがこのような成果を収められた背景には、1年次に共に若年大会に出場した手島脩兵さん(大工職種・群馬県立前橋工業高校出身)の存在が大きかったと思います。職種は違えど、手島さんも技能五輪全国大会で3年連続入賞、2年連続銀賞を獲得しました。本人の継続的な努力と、素晴らしい仲間にも恵まれたこそその成果だと思います。



**2018年度 学長表彰紹介**

学長表彰とは、学術研究や課外活動、社会活動等において、優れた功績をあげた者に対する表彰です。表彰には「学長特別表彰」と「学長表彰」があり、国際的な分野で顕著な成績をあげた者や、国内における当該分野で最高水準の成績等をあげた者に対しては、学長特別表彰が授与されます。

**【学長特別表彰】**

氏名	学科・学年	内容
和田 真人 大友 勇人	製造4 製造3	マンガンカーレース大会における自動計測装置の構築 (日本機械学会より貢献賞受賞)
高岡 菜奈(代表) 高橋 立 他38名 (建設26名、製造14名)	建設4 建設3	六本木ヒルズ・森美術館 「建築の日本展:その遺伝子のもたらすもの」 の展示物である待庵原寸模型を制作 【待庵プロジェクト】
山口 智大	建設4	第56回技能五輪全国大会(家具職種)にて金賞 (厚生労働大臣賞)
加藤 幹也 手島 脩兵	建設4 建設4	第56回技能五輪全国大会(左官職種)にて銅賞 第56回技能五輪全国大会(建築大工職種)にて銅賞

**【学長表彰】**

氏名	学科・学年	内容
加藤 祐樹	院2	(公社)日本鋳造工学会第170回全国講演大会において学生優秀講演賞を受賞
池田 勝紀(代表) 高村 純平 中川 将志 齋藤 弘樹 岩本 将尚 和田 真人	製造4	第14回種子島ロケットコンテストに出場 安全賞(日本エア・リキード賞)受賞 【宇宙開発研究プロジェクト】
成田 壮一(代表) 茶原 敬二 野口 翔平 保永 航佑 吉澤 知孝 他13名	製造4	第16回FSAE全日本学生フォーミュラ大会 で日本自動車工業会会長賞を受賞 【学生フォーミュラMONO Racing】
田村 勇貴(代表) 中島 碧海 桑田 容成 長戸 大輝	製造4 製造4 製造3 総合機械1	「第4回ウエスタ川越矯正展」における 感謝状(川越少年刑務所) 【ものづくりプロダクション】
荒池 高行 浅見 誠	製造4	設計コンテスト2018(日本設計工学会) にて、努力賞 【ものづくり大学松本研究室チーム】
武田 哲汰 武田 悠佑 久保 祐人 栗林 大輝	製造3 製造3 製造2 製造2	ETロボコン北関東地区大会準優勝 【ETロボコンプロジェクト】
宇野 元子 兵頭 冬尉	建設4 建設3	第56回技能五輪全国大会(家具職種)にて敢闘賞 第56回技能五輪全国大会(建築大工職種)にて敢闘賞
畠山 まどか	建設2	第13回若年者ものづくり競技大会 (建築大工職種)にて銅賞
戸邊 ころこ	建設4	第6回コンクリート構造物 非破壊検査シンポジウム 新進賞
清水 司(代表) 鈴木 仁士 佐藤 弘人 田邊 太貴 大前 敦 下前 照 鈴木 優人	建設4 建設4 製造4 建設4 建設4 建設4 建設4	第9回Japan Steel Bridge Competition2018 において審査員特別賞を受賞 (デザイン競技1位、載荷競技1位、 プレゼン競技1位) 【ものづくり大学Aチーム】
魚住 涼音 宇野 元子 片平 駿	建設4	ものづくり大学・埼玉純真短期大学 共同研究プロジェクト 模擬保育室(おひさまランド)の家具・遊具製作

## 「第6回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム」で 新進賞受賞

建設学科教授 <sup>さわもと たけひろ</sup>  
**澤本 武博**

2018年8月2日～3日に行われた一般社団法人日本非破壊検査協会主催「第6回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム」で建設学科4年生の戸邊ころさん(埼玉県立春日部女子高等学校出身)が新進賞受賞しました。新進賞は優秀な発表をした若手研究者に贈られる賞で、発表の内容はコンクリート中の鉄筋が錆びる原因となる塩化物イオンの浸透の程度を簡易に調べる方法に関するものです。

戸邊さんは、実習の授業を受けているうちにコンクリートに興味を持ち、3年生の時にコンクリート研究室に入りました。コンクリートの研究はチームでないとできませんので、戸邊さんがチームをまとめ研究室を盛り立てました。卒業後はコンクリートの調査・診断・研究を行う会社に就職します。これから、立派な女性技術者として活躍することを期待します。



戸邊さん新進賞受賞



学会での集合写真

## マンガカープロジェクトの自動計測装置製作

総合機械学科教授 <sup>すがや さとし</sup>  
**菅谷 諭**

小学生が模型自動車を工夫して作ることで、ものづくりの楽しさを実感してもらうマンガカープロジェクトが毎年学生主導で行われています(日本機械学会関東支部 埼玉ブロック共催、行田市教育委員会後援)。

年々向上しているレース大会の質を高めるため、学生自ら仕様を考えて自動計測装置を製作しました。小学生に興味を持ってもらうために、一般的なLED表示器ではなく、かつて空港などで使用されていた反転フラップ式案内表示器方式を採用し、苦労して完成させました。正確な計時が可能となり、公平なレースが実現できるようになるとともに、子ども達や保護者の方々にも大変興味を持ってもらえました。今後も後輩が引き続き改良を加えていきます。

毎年300名近くの地域の子子ども達も参加しており、17年という長年にわたる地域に対する貢献と自動計測装置が評価され、日本機械学会関東支部から「貢献賞」が授与されました。



製作した自動計測装置



自動計測装置で計時しているマンガカーレース大会



マンガカー工作教室

## 全日本学生フォーミュラ大会で日本自動車工業会会長賞受賞

総合機械学科教授 <sup>はら かおる</sup>  
**原 薫**



全日程終了後の集合写真

車検項目の一つチルトテスト中

エンデュランス競技中

第16回全日本学生フォーミュラ大会が静岡県袋井市内の会場にて2018年9月4日から5日間にわたって開催されました。ものづくり大学チームMONO Racingは19名で参加し、2年ぶりの完走を果たすとともに日本自動車工業会会長賞を受賞しました。

台風21号が非常に強い勢力のまま上陸した影響で初日のスケジュールはすべて中止され、その後も不安定な天候のもと、

過去に例のないタイトな進行となりました。

突然の強い雨と真夏のような日差しが1日に何度も繰り返される天候は、あたかも日本が熱帯性気候帯に取り込まれたかのように錯覚するほどでした。路面温度が安定しない中、タイヤの選択などに迷いながらの競技参加でしたが、それでも無事に完走を果たしたのは経験の成せる業といえるでしょう。「継続は力なり」。

## ETロボコン北関東地区大会で準優勝

総合機械学科准教授 <sup>みつい みのる</sup>  
**三井 実**



表彰式

走行機体

表彰式2

賞状と盾

ETロボコンは全出場チームが同一機体を用いて競技する大会で、走行機体にインストールするプログラムの性能を競います。機体にはLEGO社「MINDSTORM」を使用します。プログラムの設計図とも言える「モデル」の完成度を競うモデル部門、走行機体のスピードや難所のクリアを競う競技部門の2つがあります。毎年、日本全国から、高校・大学のチーム、ソフ

トウェア開発が業務の企業チームなど幅広い層の約300チームが参加します。

本学ETロボコンチーム「TeamMono2018」は、2018年10月の北関東大会で、プライマリクラスにおいて準優勝に輝きました。ロボット走行では全国でもトップクラスのタイムを叩き出しました。来年は優勝を狙うべく、チーム全員でソフトウェアの技術を高めていきます。

## 第13回若年者ものづくり競技大会で銅賞受賞

建設学科教授 <sup>おの やすし</sup>  
**小野 泰**



建設学科2年 畠山まどかさん

出場者	
職種	学年・氏名・出身校
建築 大工	建設2年 畠山まどか (東京 玉川学園高等部 出身)
	建設2年 梅津 弥涼 (東京 大妻中野高校 出身)
木材 加工	建設1年 新美 宥人 (愛知 碧南工業高校 出身)
	建設1年 水沼 翔大 (福島 郡山北工業高校 出身)
旋盤	製造2年 相場 奨太 (東京 武蔵丘高校 出身)

第13回若年者ものづくり競技大会が、2018年8月1、2日に石川県金沢市を中心に開催されました。本競技大会は、都道府県等から推薦された20歳以下の未就業者が、指定時間内で課題を完成させる競技です。

今回の建築大工職種には全国から40名の選手が参加しました。その中で、建設学科2年生の畠山まどかさんが、標準時間5時間15分を余すことなく使いきって課題を完成させ、銅賞を受賞しました。

## 進修館高校の文化祭歓迎門制作



作業の様子

建設学科准教授 <sup>ささき まさたか</sup> 佐々木 昌孝

高大連携事業の取り組みとして、ものづくり大学が所在する行田市にある、埼玉県立進修館高等学校の生徒と一緒に木造の「門」を制作しました。この門は、進修館高校の文化祭「華蓮祭」(2018年10月5日～6日開催)において、来場者を出迎える歓迎ゲートとしてつくられました。

進修館高校ものづくり科の3年生で構成された文化祭門制作班の生徒10名と、同高校の卒業生で

ある建設学科4年生の山口智大さんが協力し、本学教務職員・町田清之さんの指導のもと、7月上旬からおよそ3か月をかけ、2018華蓮祭のテーマ「華蓮祭 創意創作 進修の華」に相応しい、素晴らしい門が完成しました。門のデザインは、進修館高校の生徒さん達によるものです。生徒さん達は、夏休みを利用してものづくり大学の実習場を訪れ、慣れない木材加工にも一所懸命取り組んでくれました。



完成した歓迎門

## 第14回高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門 埼玉県大会が本学で開催



優勝した橋本耕太さん(中央)

総合機械学科教授 <sup>たけお やすし</sup> 武雄 靖

2018年6月9日(土)、本学総合機械学科のマシショップを会場に、「第14回高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門埼玉県大会」が開催されました。毎年、本学を会場に行われているこの大会は、

関東大会、そして全国大会へと繋がる埼玉県の代表選手を決める大会でもあります。今回は、埼玉県立熊谷工業高等学校の橋本耕太さんが、9月に開催される関東大会に出場することになりました。



競技の様子

## 埼玉県立熊谷高等技術専門校との木質構造実験



継手の曲げ試験

建設学科教授 <sup>おの やすし</sup> 小野 泰

2007年度より毎年2回、熊谷高等技術専門校を招いて木質構造実験を実施しています。2018年は9月7日に1年生が木造の継手接合部の引張試験や曲げ試験を、9月11日に2年生が筋かい耐力壁の面内せん断試験を行いました。

参加した学生達は、これらの構造実験を通して、

継手の引張強度や曲げ強度、耐力壁の強さを示す倍率を把握します。また、試験体の破壊状況は大地震時に生じる可能性があります。これらの工学的な数値や破壊状況は、将来、木造建築物の設計・施工に携わる上で、大いに役立ちます。



筋かい壁の面内せん断試験

継手の引張試験

## 第9回 ものづくり大学 高校生建築設計競技



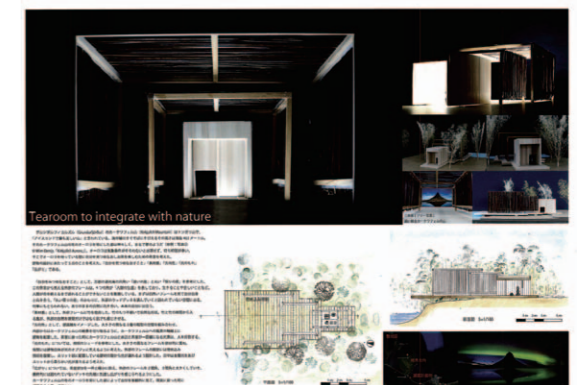
授賞式

建設学科准教授 <sup>おかだ きみひこ</sup> 岡田 公彦

本学では、建築を学ぶ高校生を対象に、毎年建築設計競技を実施しています。

2018年度の課題は「現代の茶室」で、茶室建築の考え方や精神を生かした、これからの生活にふさわしい建築の提案を求めました。全国17校から58作品の応募があり、2019年2月25日に授賞式が開催されました。

	タイトル	氏名
第1位	Tea room to integrate with nature	大辻 絢介さん 東京都立蔵前工業高等学校
第2位	カプセルカフェ	石井 唯さん 仙台市立仙台工業高等学校
第3位	快適環境の中で四季を通じて日本の伝統文化を味わえる茶室	渡邊 沙紀さん 東京都立蔵前工業高等学校
日本ものづくり学会賞	STARBOX～折りたたみ式の茶室～	長谷川 愛さん 東京女子館高等学校



第1位 Tea room to integrate with nature



## 授業紹介

## 総合機械学科「WebデザインI・II」

総合機械学科教授 **高橋 正明**  
たかはし まさあき  
 総合機械学科非常勤講師 **今井 裕治**  
いまい ゆうじ

近年のものづくりにおいては、作られた製品についてインターネット上で有効な宣伝を行うため、Webコンテンツを自由に駆使し、優れたWebページを制作することも重要となっています。

Webデザイン I および II は、主にホームページの制作をコンセプトメイキングの考え方から実践的なWebサイト制作(スマートフォンに対応させる)までを行っています。このうち、Webデザイン I ではHTML5とCSS3の基礎知識を中心に解説し、実際の仕事で使われるDreamweaver, Photoshopなどの基本操作を学びます。実際にWebサイトを構築して、スキルを手に入れることを狙いとしています。Webデザイン II では応用として、CMS(コンテンツマネージメントシステム・WordPress)についての解説や利用、動画作成ツールMayaの基本操作について解説や実習を行っています。



## 建設学科「建設基礎設計I」

建設学科助教 **大竹 由夏**  
おおたけ ゆか

建設基礎設計 I は、2018年度から「自分の居場所—最小限空間をつくる—」という小屋設計の課題になりました。ひとりの時間を楽しむ隠れ部屋であったり、来客をもてなす応接部屋であったり、作業部屋であったり自分の居場所になるような空間を設計する課題です。

授業では、まず、大学内のル・コルビュジエ設計によるカップ・マルタンの休暇小屋のレプリカや過去の「木造応用および実習 I・II」で制作した別荘を体験してもらいます。次に、スケッチや模型制作などで手を動かしてもらいます。小さな空間の中にも様々な建築の可能性を感じ、図面に起こし、最後に、制作した作品を模型やパネルで表現してもらいます。

本学に入学してはじめての設計課題となります。空間を設計する楽しみを知るきっかけになればと思っています。



ものづくり大学では、  
 たくさんの女子学生が  
 楽しく学んでいます！  
 詳しくはWebへ！



ものづくり大学のインターンシップ  
 総合機械学科・建設学科とも、実働40日間(最長80日間)  
 にわたる長期間のインターンシップを履修します。

※学年・所属部署は2019年2月現在

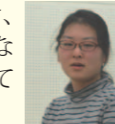
## 総合機械(製造)学科

※2018年4月より、製造学科は総合機械学科へ  
 名称変更しました。

- 学生課就職・インターンシップ係 **島村 知佳さん**  
しまむら ちか
- 1年 **十代 京佳さん** 千葉県出身  
じゅうたい きょうか
- 3年 **小松崎 結衣さん** 栃木県立宇都宮女子高等学校出身  
こまつざき ゆい
- 1年 **チェン モラレス アンドレアさん** ペルー出身

小松崎さんは2018年にタイでのインターンシップに参加しましたね。

小松崎 三菱電機オートメーション(タイランド)株式会社で、モーターの工場、金型の製作現場、設計部門など複数の部門を経験させていただき、設計開発の方向で就職を考えるようになりました。現地では英語やタイ語を使ってコミュニケーションをとりました。



インターンシップに参加して変わったことは。

小松崎 自信ができました。自分に足りないこともわかって自分の理解にもつながりました。



十代さんとアンドレアさんは2019年6月からインターンシップですね。

十代 国立研究開発法人理化学研究所で鏡面研削の研究・実験に参加させていただいたので、すごく楽しみです。



アンドレア 浦和冶金工業株式会社で金型設計や金属部品加工を経験させていただきます。将来は、原子力やエネルギーといった物理学の勉強もしたいと思っています、ものづくり大学での経験を活かしたいです。

インターンシップ担当職員として学生を見て思うことは。

島村 がんばった学生は大人になって帰ってきます。そんな姿を見るのが嬉しいです。



## 建設学科

- 建設学科助教 **大竹 由夏先生**  
おおたけ ゆか
- 3年 **竹田 弥生さん** 東京純心女子高等学校出身  
たけだ やよい
- 3年 **菲塚 玲奈さん** 埼玉県立寄居城北高等学校出身  
ひづか れいな
- 2年 **ミゴダ ガウリ サラ サジーワニさん** スリランカ出身

楽しかった実習は？

菲塚 3年の「地盤調査および土質実験実習」。小さい頃から土が好きで(笑)ボーリング調査をして、土の滑りやすさや水の浸透などを調べました。



竹田 3年の「仕上技能工芸および実習 III」で、ボードと壁紙で天井や壁をつくりました。解体工事現場を見たら実習そのままでした。

サラ 2年の「木造応用および実習 I・II」で、木造住宅をつくりました。建具担当チームには社会人の人たちも参加していて一緒に作業ができて、楽しかったです。



ものづくり大学のいいところは？

菲塚 いい意味で男女の区別がない。女子でも当た

りに単管パイプを運びます。

竹田 実習がたくさんある。マニアックな内容(笑)も。その道のプロが非常勤講師として教えてください。



大竹 本当に実習が多いです。一級建築士を受験するとき、教科書だけじゃなくものを触って覚えているから有利ですよ。つくることを考えるから、設計図も絵空事じゃない。



## 著作紹介

### 『iPod特許侵害訴訟 アップルから3.3億円を勝ち取った個人発明家』

著者:新井 信昭 あらい のぶあき 総合機械学科特別客員教授 出版社/日本経済新聞出版社



Appleから3.3億円を勝ち取った貧乏発明家の熱い闘いの軌跡を、特許や裁判の知識・課題とともに分かりやすく解説しました。テレビ化もされた話題の小説「下町ロケット」を読むような気楽さで読んでいるうち、特許や知的財産の知識を自然に身につけられるように工夫しました。特許や知的財産というものは、誰にとっても身近で知れば知るほど得をするものです。このことを国民全体で共有すれば、日本国は元気になり国民もハッピーになれると著者は考えています。

本書は2019年にNHK番組「逆転人生-最強アップルVS.貧乏発明家-」で取り上げられました。同番組はNHKオンデマンドで視聴できます。そのような背景を持つ本書は、知財の知識・実態とテクノロジストの魂なるものを教えてください。テクノロジストが社会における活躍域を広げるための有益な道具となり得ましょう。

### 『P・Fドラッカー マネジメント思想の源流と展望』

著者:井坂 康志 いさか やすし 総合機械学科特別客員教授 出版社/文真堂



2003年から15年ほど書きためた論文を一冊にまとめました。ほとんど一から書き直す苦渋の時期を経て、ようやく刊行できました。半生の卒業論文を書く気持ちでした。

尊敬してやまぬ師にして畏友・上田惇生先生(本学名誉教授)からの10年来の約束の書。「美しい本。文章が上品だから、読んでいて楽しい。このまま進んでほしい」との電話をいただいたのが2018年9月20日、先生は2019年1月に瞑目され、嚔咳に接する最後となりました。悲しみと懐かしさは万感胸に迫るものがあります。育てて下さった方々へのささやかな報恩ともなればと念じつつ。

### 『わかる! 使える! 鋳造入門』

著者:西 直美 にし なおみ 総合機械学科教授 出版社/日刊工業新聞社



金属を加熱して溶かし、鋳型に流し込んで冷やして固める鋳造は、鍛造と並んで古代より人類が利用してきた金属加工法です。鋳造法には、鉄、銅、アルミニウムなどの金属の種類、用途、生産数量によって様々な種類があります。鋳造の工程は複雑で、鋳造法によってかなり異なります。

本書では鋳造の初心者を対象にして、第1章では鋳造の基礎、第2章では鋳鉄を中心とした砂型鋳造、第3章ではアルミニウム合金を中心とした重力金型鋳造、第4章ではダイカストを取り上げ、鋳造の準備から後加工までの一連の実作業を中心に解説しています。

## 三つの賞を受賞して

建設学科非常勤講師 にしむら しんいち 西村 眞一

2018年5月に日本建築士工学会から技能賞、10月に(公社)日本建築士会連合会から伝統的技能者表彰、12月に地元杉並区から技能功労者表彰を受けました。工学会の受賞理由は、「国内外における左官技術者の育成教育の貢献」です。

私は左官業に従事して2019年で47年となります。2006年からは本学の建設学科の非常勤講師を務めていて、2017年には国際協力機構(JICA)が政府開発援助(ODA)として実施する「ミャンマー国建築技能訓練校設立運営及び技能認証制度の普及・実証事業」により、ヤンゴン市内のスキルズ・トレーニング・センターで「左官・レンガコース」を指導してきました。2018年12月には、行田市の日本遺産/足袋蔵コーディネーター養成講座の講師、(一社)東京建築士会のヘリテージ・マネージャー講習の左官講座の講師を務めました。杉並区の技能功労者表彰は、父が1993年にやはり表彰されており、親子二代の表彰となりました。



「伝統構法による建造物総合および実習」の授業



ヤンゴンの訓練校にて土壁の見本塗り



足袋蔵コーディネーターへの左官職の使い方指導

## 渋川市の元旅館「藤屋」保存活動

建設学科教授 みはら ひとし 三原 斉

群馬県渋川市赤城町棚下地区にある元旅館「藤屋」(明治初期建築)は、建築物の老朽化が進行し、家主の意向で取り壊しが決定しました。2018年7月家主から、ものつくり大学建築生産研究室に藤屋の現状調査および設計図作成の依頼があり、当時の「藤屋」がどのように使われていたのかを提示することとなりました。

1881年大久保利通による土木7大プロジェクトのひとつである清水越新道の開通と、群馬県前橋と新潟県柏崎を結ぶ旧清水街道につながる鳥山新道の開削および綾戸橋の開通により、棚下地区の交通は活気にあふれていました。1885年、「藤屋」は、旅籠として旧清水街道に面して建設され、清水越新道の開通式に出席するために北白川宮能久親王や西郷従道および山縣有朋が休憩および宿泊したという歴史があります。

本調査研究では、調査結果に基づき、「藤屋」を新たな材料を用いて再生することが可能であることを家主に提示することができました。



旧街道に面する「藤屋」の現状



「藤屋」外部から室内状況の測量



元旅館「藤屋」の全形測量の状況

## 「主婦が始めた国際協力30年」—まずアクションから—

ものづくり大学市民特別公開講座 開催日:2018年10月28日(日) 会場:ものづくり大学



特定非営利活動法人  
国際協力NGO・IV-JAPAN代表 とみなが さちこ 富永 幸子氏

学園祭「碧蓮祭」の2日目の午後、行田市と共催で市民特別公開講座を開催しました。2018年は、NGO・IV-JAPAN代表の富永幸子氏をお招きし、「主婦が始めた国際協力30年—まずアクションから—」と題して、約70人の市民や学生、大学関係者がお話を伺いました。

当日の富永氏のスタイルは、シンと呼ばれる民族衣装の巻きスカートと、ラオスのシルク生地をアレンジしたブラウスでした。シンに使われる柄には色々な意味があるのだそうです。

ご自身の経歴の中で、ガールスカウトの活動や、海外への渡航を契機として、海外の厳しい現実を目の当たりにしたことが、どのように現在の活動につなが

っているかを伺い、改めて若い時期の体験が非常に大きいのだということを感じました。



また、これまでのラオスにおける教育や職業人育成への息の長い支援活動に感動しました。

そして、何より、この夏のダム工事に関連した水害にもいち早く駆け付ける、その行動力に、30年の継続の力の源を感じました。

みやもと のぶこ  
教務課長 宮本 伸子

## 三大学で連携協力協定を締結

ものづくり大学・埼玉純真短期大学・平成国際大学

あかまつ あきら  
学長 赤松 明

埼玉純真短期大学の藤田学長から大学間連携についての呼びかけがあり、2017年に二大学間での交流がスタートしました。その後、平成国際大学を含めた三大学間の連携協定が合意され、2018年11月にものづくり大学にて三大学連携協定締結の調印がなされました。

三大学は、埼玉県北東部の地域に隣接し、埼玉純真短期大学(羽生市)は幼児教育、平成国際大学(加須市)は法律とスポーツ、ものづくり大学はものづくり教育を教授しています。今回の締結は、相互の特徴を活かした連携を行うことで、新たな付加価値を生み出し、互い

に大学力を高めていくことを主たる目的としています。

2018年度は、埼玉純真短期大学との連携事業として幼児教育施設のための家具や遊具を制作・寄贈、平成国際大学とは、シニア生き生き大学「明治維新150年の日本」の講師派遣に協力しました。



協定書を締結した三学長  
(左から藤田利久埼玉純真短期大学学長、  
堂ノ本眞平成国際大学学長、赤松明ものづくり大学学長)

埼玉純真短期大学への家具・遊具の制作寄贈

## 「バトンでつないだ夢 ～『10秒の先』を目指して～」

ものづくり大学特別公開講座

開催日:2018年12月18日(水) 会場:パレスホテル大宮



富士通株式会社企業スポーツ推進室 つかはら なおき  
北京2008オリンピック400mリレー銀メダリスト 塚原 直貴氏

※上位チームのドーピング違反により、2018年12月に銅メダルから順位が繰り上がりました。

塚原直貴氏は、陸上100m自己最高記録10秒09、インターハイ2冠、日本選手権3連覇、世界選手権リレー4位、オリンピックリレー銀メダルなど、日本陸上界をけん引してこられました。

小学5年生で本格的に短距離走に取り組み、卒業文集にオリンピックに出ると書いたそうです。人任せではいけないとトレーニングメニューを自分で作るなど努力を重ね、オリンピック出場、銀メダルに輝きました。

2017年現役引退後はコーチやアドバイザー、陸上の普及活動を行われていますが、何を目標にすればいいか思い悩んだ時期もあったそうです。これからは陸上競技場から出たさらに広い世界で10秒の先を目指していく、と結びました。

講演内では、日本チームの強みである独自のバトンパス「アンダーオーバーパス」を高校生3人と実演しました。

高校生からは、レース前の緊張をほぐすためには、など陸上部らしい質問がありました。緊張は結果を出すために必要だが、自分の世界に入りすぎない、結果ばかりを求めすぎない、練習も本番の気持ちで取り組むことが本番で動じない精神力につながる、というアドバイスをいただいていた。 総務課 広報地域交流係



## 第18回ものづくり大学学園祭(碧蓮祭)開催報告

第18回碧蓮祭実行委員長・製造学科4年 あまの ともひと 天野 智仁  
(群馬県・高崎健康福祉大学高崎高等学校出身)

2018年の碧蓮祭は10月27日(土)、28日(日)両日も天候に恵まれ、屋内外ともに多くの人で賑わいました。学生団体による出店、ピング大会・アームレスリング大会等のステージ企画、同窓会による出店・花火大会、埼玉県技能士会連合会が主催する技能まつり、埼玉県職業能力開発協会が主催する技能フェスタなど、2018年も多様なイベントが同時開催されました。ものづくり大学

らしい学園祭を開催することができ、改めてものづくり大学のすばらしさを実感しました。

来場して下さった方々はもとより、碧蓮祭という大きなイベントを成功させるために協賛頂いた各企業の皆様、各出店団体に感謝いたします。また19回目も、今回以上の賑わいを見せ、来場者の方々が笑顔で帰って頂けるよう、様々な企画を考えていきたいと思ひます。



ステージ

技能フェスタ

技能まつり

同窓会制作の木製ジェットコースター

## オープンキャンパス

ものづくり大学のことをもっと知っていただくために、オープンキャンパスを開催いたします。どうぞまわりのお友達やご家族もお誘いの上、お越しください。オンラインワンをめぐすものづくり大学で、きっと喜ぶような、新しく面白い発見があなたを待っています！



2019年						2020年					
3月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	26	23	7	21	28	3	11	24	31	15	5
SUN	SUN	SUN	SUN	SUN	SUN	SAT	SUN	SAT	SAT	SUN	SAT

### ドーナトリ(学生寮)宿泊体験

遠隔地からオープンキャンパスに参加される方は、ドーナトリ(学生寮)に宿泊することができます。詳しくは入試課まで。



### 個別大学見学

オープンキャンパス以外にも個別大学見学「あなたのための見学会」を受け付けています。事前に入試課にお申し込みください。



### 全体説明会



大学の概要をお話します。その後、研究室の学生による大学紹介や入試概要など、開催日によってさまざまなコンテンツを用意しています。

### キャンパスツアー



ものづくり大学の特徴である各種施設を学生スタッフがご案内します。最新の教育研究機器や学生制作物などをご覧ください。

### 体験模擬授業



両学科、毎回異なるテーマで実施します。聞くだけの授業だけでなく、体験型の授業を数多く用意しています。



両学科、実際の授業に近い体験をすることで、大学の授業の雰囲気を味わうことができます。

### ドーナトリ(学生寮)見学



大学の敷地内にある学生寮の見学会です。実際にドーナトリに住んでいる学生スタッフがいますので、生の声をお聞きください。

### 進学個別相談



進学のことや入試制度、大学の特色、奨学金のことなど、なんでもご相談ください。面接プレゼン入試のエントリーも受付します。

### 在学生メッセージ



在学生からのメッセージを聞くことができます。当日は学生スタッフがみなさんをご案内します。わからないことや聞いてみたいことを何でも相談してください。

### 学食ランチ無料体験



「食」のことも要チェック。学生食堂でランチ体験ができます。栄養のバランスが良くボリューム満点の学食ランチを無料体験してください。

## 入試TOPICS

### ●特待生入学試験

ものづくり特待生入学試験、学力特待生入学試験、センター特待生入学試験、数学特待生入学試験における合格者は、年間授業料(88万円)の全額または半額が免除されます。なお、特待生も奨学金に応募することができます。

### ●女子スカラシップ入学試験

本学への入学を希望する女子学生を対象とした入学試験です。合格者の入学料全額または半額を免除します。出願資格等は学生募集要項でご確認ください。

### ●専門学科・総合学科特別入学試験

一定水準以上の高校の成績を取得し、本学への入学を希望する工業科等専門学科又は総合学科の生徒を対象とした入学試験です。合格者の入学料を免除します。出願資格等は学生募集要項でご確認ください。

### ●試験日自由選択(高得点採用)

一般入試前期、学力特待生入学試験は、2日間の試験日から受験する日を自由に選択できます。また、2日間とも受験した場合は、いずれか得点の高い日の結果で合否判定します。

### ●地方入試

推薦入学試験A日程、面接プレゼン入学試験第IV期、ものづくり特待生入学試験A日程、女子スカラシップ入学試験A日程、学力特待生入学試験、一般入学試験前期、外国人留学生入学試験A日程は、大会場の他に、宮城県・新潟県・長野県・静岡県・大阪府・福岡県でも入学試験を実施します。地方入試の詳細は大学ホームページでご確認ください。

### ●入学検定料優遇措置

本学の入学試験を複数回受験する場合、入学検定料の優遇措置があります。また、災害救助法の適用を受けた方も減免制度がありますので、詳細は大学までお問い合わせください。

### ●第二希望学科併願無料

一般入学試験と入試センター利用試験は、第二希望学科を無料で併願することができます。

## 奨学金情報

### ものづくり大学 生活支援奨学金

給付額:年間30万円  
受験前に申請と採用の確認が可能。  
採用人数:33名  
(2018年度実績)

### ものづくり大学 奨学金

給付額:年間30万円(学部生) 年間45万円(大学院生)  
対象:学部・大学院に在籍する2年次の学生  
採用人数:18名  
(2018年度実績)

### ものづくり大学 さくら奨学金

給付額:年間12万円  
対象:学部・大学院に在籍する3年次及び4年次の学生  
採用人数:4名  
(2018年度実績)

### ものづくり大学 同窓会奨学金

給付額:年間12万円  
対象:学部2・3・4年次、大学院生1年次及び2年次の学生  
採用人数:8名  
(2018年度実績)

## 留学生授業料減免制度

### 私費外国人留学生 授業料減免制度

私費外国人留学生の場合、入学金50%、年間授業料40%を減免します。なお、入学検定料も50%減免となります。

◎ものづくり大学独自の4つの奨学金はすべて給付制であり返還は不要です。  
◎大学独自の奨学金と特待生の2つの制度によって、新入生のおよそ5人に1人以上が大学からの経済的支援を受けることができます。

### ■オープンキャンパス予約特典

ものづくり大学のオープンキャンパスは予約なしで参加できますが、事前に予約すると当日プレゼントがあります。ぜひ、ホームページから予約してください。



### ■資料請求

ものづくり大学ガイドブックや募集要項など、多くの大学資料をゆっくりとご覧ください。資料の請求は、大学ホームページまたは、入試課にご連絡ください。



## CALENDAR 2019年4月~2020年3月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
行事・式典など	2 新入生ガイダンス 3 入学式 8 第1Q授業開始 20・21 蔵めぐりスタンプラリー	6 祝日振替休日・平常授業 26 オープンキャンパス	7 教員対象 進学説明会 12 第1Q授業終了 13 祝日振替休業 14 第2Q授業開始 23 オープンキャンパス	7 オープンキャンパス 15 海の日・平常授業 21 オープンキャンパス 28 オープンキャンパス	3 オープンキャンパス 11 オープンキャンパス 12 祝日振替休日・平常授業 13 第2Q授業終了 8/14~9/18 学生夏期休暇 24 オープンキャンパス 31 オープンキャンパス	15 オープンキャンパス 19 第3Q授業開始 23 秋分の日・平常授業 28 入試	5 女子向け実習体験教室 体育の日・平常授業 14 入学試験 進学相談会・授業見学 19 入試 25 学園祭準備・臨時休講 26 第19回帰郷祭 27 第19回帰郷祭 28 祝日振替休業	4 祝日振替休日・平常授業 7 祝日振替休業 16 入試 22 第3Q授業終了 24 進学相談会 25 第4Q授業開始	14 入試 12/21~1/5 学生冬期休暇 12/27~1/5 年末年始休暇	17 センター試験前臨時休講 18・19 大学センター入試 29・30 卒研発表会	1・2 入試 初旬 修士論文発表会 11 建国記念日・平常授業 第4Q授業終了 2/12~3/31 学生春期休暇 21 入試	9 入試 13 卒業式・修了式 22 オープンキャンパス								
学期(クォータ)	1Q			2Q			夏期	3Q	4Q											
図書情報センター	<table border="0"> <tr> <td>通常</td><td>9:30~18:00</td> <td>短縮</td><td>10:00~17:00</td> <td>延長</td><td>9:30~18:30</td> <td>休館</td><td>*土・日・祝日は休館</td> </tr> </table>												通常	9:30~18:00	短縮	10:00~17:00	延長	9:30~18:30	休館	*土・日・祝日は休館
通常	9:30~18:00	短縮	10:00~17:00	延長	9:30~18:30	休館	*土・日・祝日は休館													
	短縮:4/1~5	延長:5/30~6/12	延長:6/13	延長:7/31~8/13	休館:8/14~31	短縮:9/2~18	延長:11/11~22	休館:10/25~28 休館:11/7	短縮:12/24~26	延長:1/29~2/11	休館:12/27~1/5 休館:1/17	短縮:2/12~3/6	休館:2/21 休館:3/7~3/31							

### ものづくり大学通信バックナンバー

PDFで公開しています。ぜひご覧ください。



### ものづくり大学通信 No.21

発行日: 2019年5月15日  
発行人: 赤松 明  
編集長: 藤原 成暁  
編集: ものづくり大学通信編集委員会

お問い合わせ先



〒361-0038  
埼玉県行田市前谷333番地  
TEL 048-564-3906  
FAX 048-564-3201  
E-Mail [koho@iot.ac.jp](mailto:koho@iot.ac.jp)  
<http://www.iot.ac.jp/>

(表紙)

コラージュ: 永井孝 (総合機械学科准教授)

梅原名誉総長に、11期生(2014年度卒業)までの卒業アルバム  
の表紙を揮毫いただいていたました。表紙は、その書を  
コラージュしたものです。